

The image features a background of cherry blossom trees in full bloom, with a large, light-colored building with a prominent dome visible through the branches. The text is overlaid on this scene.

Nando Senior High School

2023

ひとつ、その上へ。

あなたは今の自分に満足していますか。
 もっと自分の力を高めたいと思いませんか。
 もしそうなら、七尾高校の扉をたたいてみませんか。
 私たちがみなさんのチャレンジを
 全力でサポートします。



遠足



キャリア教育講演会



1年生グループ
エンカウンター



修学

七高の3年間がスタート。
 一緒に学びあい、高めあいましょう！



入学式

総体・総文
壮行式

令和4年度前期生徒会役員

【執行部】	会 長	一花 颯志	(3年 高松中学校出身)
	副 会 長	長谷さくら	(3年 七尾中学校出身)
	書 記	神戸 健伍	(3年 七尾中学校出身)
	書 記	高田 麗依	(3年 穴水中学校出身)
	企画委員長	干場 開晴	(3年 中島中学校出身)
	財政委員長	示野 安那	(3年 七尾中学校出身)
	文化委員長	岡山 美穂	(3年 中能登中学校出身)
	体育委員長	赤崎 萌那	(3年 高松中学校出身)
	公安委員長	堂後 輝能	(3年 七尾中学校出身)
	情報委員長	寺井 瑛	(3年 七尾中学校出身)
【議会役員】	特別委員長	杉田 彩華	(3年 七尾中学校出身)
	議 長	平澤 朋佳	(3年 志賀中学校出身)
【応援団】	副 議 長	櫻井 瑠愛	(3年 高松中学校出身)
	応援団長	大森 蒼介	(3年 七尾東部中学校出身)
	副 団 長	杉森 颯太	(3年 七尾中学校出身)

私たちが
紹介し
たいです





希望進路実現に向けて
ラストスパート!!



体育祭



七高祭

3年

行事や部活動の中心
となって学校を盛り
上げよう!



卒業式



校内陸上競技大会

2年



旅行



校内球技大会



校内体操大会



本校の天体観測室

七尾高校がモデルになった漫画『君は放課後インソムニア』(オジロマコト/小学館)の、アニメ化・映画化されることが決定しました!

コース選択

七尾高校ではみなさんの志望に応じて、1歩先んじ、文系・理系の学習を究めていく「普通科文系フロンティアコース」と「理数科」、自分の適性を見極めてからコース選択ができる「普通科普通コース」という3つのコースを用意しています。

夢に近づく3つのコース

普通科文系フロンティアコース

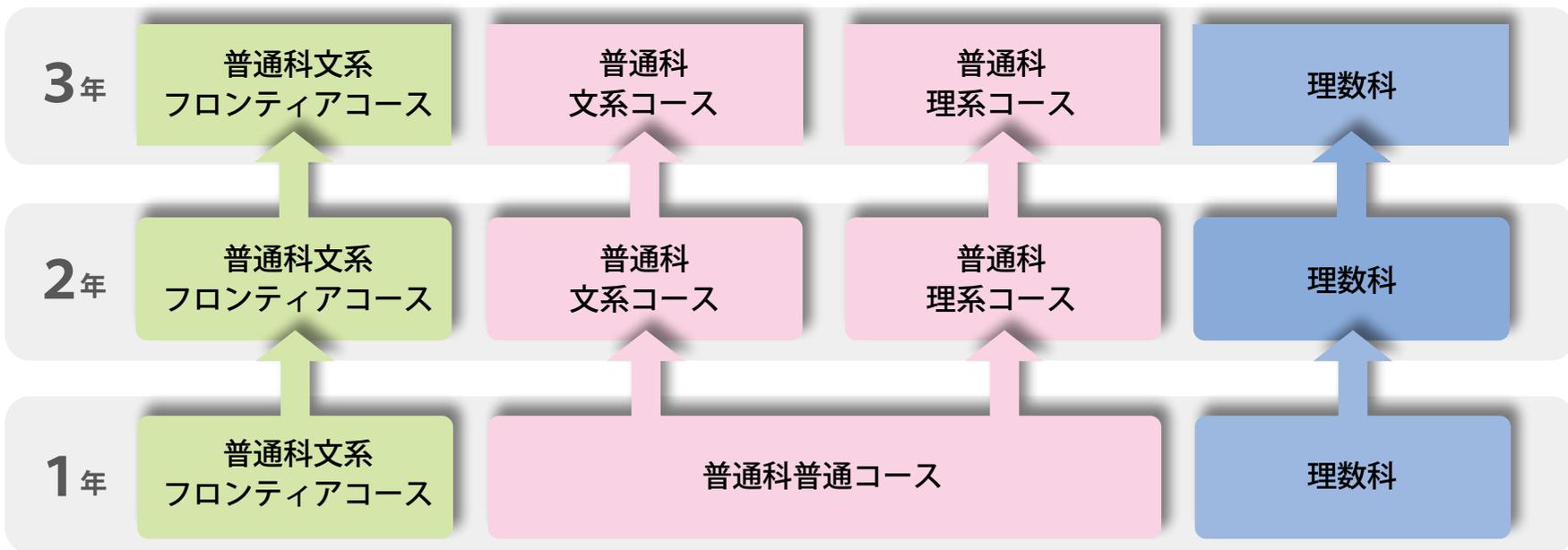
平成24年度に石川県の「いしかわニュースーパーハイスクール（NSH）」事業の指定を受け、設置された開設11年目のコースです。将来、国際的な場面で活躍できる人材になることを目標にグローバルコミュニケーション能力を身につける取り組みを行っています。

普通科普通コース

1年次は3クラスでスタートし、2年次から文系クラスと理系クラスに分かれます。3年次では、普通科文系コースにおいて私立大学を志望する人は国、英の科目を多く選択することが可能です。

理数科

令和4年度、新たに文部科学省より第5期3ヶ年のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受け、今年で19年目になります。将来、理数分野で活躍できる人材になることを目標に、探究活動を中心とした取り組みを行っています。





在校生に聞いてみました！



階戸 淳平（3年・河北台中学校出身 男子バドミントン）

七尾高校を選んだのは、集中できる学習スペースがあり、金沢方面の進学校よりも人数が少ないため、先生方の生徒への対応が良いだろうと思ったからです。（実際、僕のこの判断は正解でした。）文系か理系かは、全く分からなかったのですが、入学後1年間をおして決めようと思い、普通科を選びました。勉強と部活動の両立は、最初は大変でしたが、学習習慣がつくとどちらも頑張れるようになれます。またどちらも設備が充実している点は魅力でもあり、大事なポイントです。進路の希望はまだ定まっていませんが、大学への進学後は、知識や人脈をより広げたいと思っています。七尾高校の校舎は広く、余裕があります。アトリウムが備わっており、とても風通しが良く癒やされます。電車で約1時間かけて通学していますが、七尾駅から近いので、金沢方面の進学校への通学と比べると、乗り換えが無く、しかも混んでいないので、むしろ楽だと思います。また、面白い先生方が多く、授業は楽しいです。ペアワークなどが多く、より知識を得られます。受験生の皆さんは勉強で大変かもしれませんが、その分、楽しいことが必ずやってきますよ。

本田 知也（3年・能登香島中学校出身 男子バスケットボール）

地元の高校で、勉強はもちろん、部活動にも全力で取り組んでいるという評判を聞いており、そのことがとても魅力的に感じました。また、普通コースに入ることで、1年間、自分の能力や興味を持てる大学を探す時間を確保できると考えました。入学してから、自分は勉強するにあたって、どれくらいの時期から始め、どのように進めていくかなど、計画的に取り組めるようになりました。これはとても大事なことだと思います。今は教育系の大学への進学を考えています。大学では教師に必要とされる様々な力を身につけたいです。七尾高校は評判どおり、勉強と部活動の両立ができています。自分が所属しているバスケットボール部では「人間の成長」をテーマに、インターハイ出場を目標に、日々頑張っています。また、学校行事で印象的なのは「体育祭」です。団のメンバーが協力して準備にあたり、本番を迎えます。団ごとに個性豊かな姿が見られて、毎年感動しています。なお設備では、生徒が集中して勉強がしやすい「学生ホール」というスペースがあり、とても役に立っています。



島 光輝（3年・中能登中学校出身 野球）

自分の家から比較的近く、通いやすかったから七尾高校を選びました。また家族からも将来を考えるときに選択肢が広がるというアドバイスを受けたのも大きな理由です。ただ、理数科か普通科かは正直なところ迷いましたが、文理選択は高校に入ってから決めようと思い、普通コースを選びました。高校に入学してから、自分が成長したと感じるのは「時間の使い方」です。中学校の時に比べると、やるべき事が増えたため、限られた時間をどうやって有効に使うかを考える力がつきました。七尾高校は他の学校よりも比較的綺麗ですが、それ以上に設備が充実しています。また駅から徒歩数分という好立地に加え、広い敷地と校舎で迷ってしまうこともあります。（笑）将来は地域の人たちと密接に関わる仕事をしたいと考えています。そのために、授業などでもコミュニケーションを積極的にとるように心がけています。また、ユニークでユーモア溢れる授業が多く、とても楽しく勉強できます。部活動は野球部に入っていますが、上下関係があまり厳しくなく、先輩後輩もとても仲が良く充実しています。

杉田 彩華（3年・七尾中学校出身 女子バレーボール）

能登で一番の進学校であり、物心がつく頃から七尾高校へ行くと決めていました。勉強と部活動の二つに全力で打ち込みたくて普通コースを選びました。とにかく自分がやりたいことに集中するには、このコースのほうが適していると考えたからです。実際、入学してからは、個性豊かな先生方や生徒の皆さんに出会えて、自分の考え方が広がったことを感じます。特色として際立っているのが、「探究・融合プロジェクト活動」だと思います。社会に出たときに役立つスキルを学び、課題解決に向けて、そのスキルの活用法を学ぶなど、他の学校にはない活動があります。将来は、建築について学べる大学への進学を考えています。将来、建築士になりたいです。部活動では、部員が中心となって練習内容を決めたり、助言しあったりしています。生徒主体なので融通も利き、仲間との絆も深まり、充実感があります。学校行事では、伝統ある「体操大会」ですね。特に女子が丸丸となって表現する創作ダンスや男子の倒立歩行は圧巻です。クラス対抗なので、とても盛り上がりやすいです。



普通科 文系フロンティアコース (NSH)



ここから切り拓く、未来への挑戦！

21世紀に必要な スキルの育成

1 実践的な表現活動

「課題研究B」や通常授業の中で、英語・日本語での発表活動が豊富に行われています。これらの授業を通して論理的思考力、自分の考えを他者に伝える表現力を身につけます！

2 豊かな異文化交流

海外研修をはじめ、異文化出身の人々と交流する機会が豊富にあります。異文化に実際に触れることでしか得られない広い視野を身につけ、グローバル社会に対応できる異文化理解力を鍛えます！

3 社会とつながる 体験活動

地域の課題を見つけ、その解決策を提案する「ビジネスプラン」や地域の魅力を探る「里山里海探究」等の活動を通して課題発見力、創造的思考力を身につけます！

「世界を動かす国際人」
を目指しましょう！

在校生のインタビュー



飯室 朱織 (3年・津幡中学校出身 ポート)

他の学校にはない「文系フロンティアコース」に魅力を感じました。英語の授業が多く、2年生ではイギリスへの修学旅行もあり、英語に触れる機会が多いからです。NSHやSSHに指定されているため、入学後、他の学校では経験できないような著名人の講演が聞けたり、多くの留学生との交流ができました。そのため、大学への進学では国際関係論を学び、国際政治に詳しい人材になりたいと考えています。七尾高校には、県内でも珍しいポート部や女子サッカー部もあります。私はポート部に所属し、インターハイ出場を目標に頑張っています。また校内内のアトリウムでは、ダンス、合唱、書道部などのステージパフォーマンスがあり、見ていて楽しいです。私は電車通学の時間が長いのですが、単語帳や小テストの確認などをしていて、意外に無駄な時間がないです。それ以上に、七尾高校には、一緒に高みを目指して努力できる仲間と先生方がいる最高の環境があります。勉強についていけないかという不安や心配はありません。



松井 水香 (3年・中島中学校出身 女子サッカー)

七尾高校を選んだのは夢を見つけるためです。強い意志と目標を持った先輩方がたくさんいると聞いて、私も先輩方と同じように夢を見つけ、一生懸命頑張りたいと思いました。また、文系フロンティアコースを選んだのは、英語の本場であるイギリスでの研修があることに惹かれたからです。新型コロナウイルスの影響で中止になりましたが、代わりに行われた「エンパワーメントプログラム」はとても有意義で、本当に4日間アメリカに行った気分になりました。七尾高校の魅力は、一緒に頑張る仲間が多いことです。部活動や勉強が忙しくても、休み時間や登下校時の何気ない会話を通じて、みんなも頑張っているから自分も頑張ろうと思います。将来、誰かの幸せを作る仕事に就きたいです。自分が今頑張っていることが、誰かを幸せにすることに繋がると考えるとやる気がでます。中学とは違う部活動(女子サッカー)を始めましたが、楽しくて勉強を頑張るモチベーションにもなっています。七尾高校は、駅から近く、道中には惣菜店やパン屋さんなどがあり、いつもお世話になっています。

刺激的な異文化交流が魅力です！



小石 愛実 (3年・邑知中学校出身)

体験入学の時、本当に楽しくて「この学校に入りたい！」と強く思いました。先輩達がキラキラしていて、この学校なら「3年間楽しく過ごせる」と確信しました。出願ざりざりまで、文系フロンティアコースと普通科で迷いましたが、特色の有る方になりました。入学後は、英語力が圧倒的につきました。他コースより英語を話す機会が多く、留学生との交流を通じて自信がつき、話すことに恥ずかしさがなくなりました。この学校の良いところは、生徒達がどの行事にも全力で取り組むところだと思います。行事を経るごとに、七尾高校にきて本当に良かったと思います。皆さんも入学すると実感できますよ！今のところ、大学では心理学を学ぼうと考えていますが、焦る必要は無いと思います。電車通学では30分くらいかかりますが、意外に効率よく勉強に使える有意義な時間です。どこの高校へ行けばいいのか決められなかった中学3年生の頃の私にも伝えたい。七尾高校はおすすめです。想像している何百倍も楽しい学校生活が送れるはずですよ。

仲谷 怜朗 (3年・柳田中学校出身 弁論)

能登地区最高の進学校と聞いて、とても興味を持ちました。特に文系フロンティアコースには、海外研修があり、より適した環境で英語を学べると考えました。実際、入学してみると、スピーチに関する授業もあり、話すことが得意になりました。七尾高校に入学して、責任感ある行動がとれるようになったと感じます。様々なイベントやテストがあるので、自分の実力を試す機会が多いです。探究学習などを通じて、旅行業界に興味を持ちました。今はその方面への進学・就職に関心があります。最も印象に残る行事は、やはり「学校祭」です。今年は3日間の日程に戻る予定なので、とても楽しみです。みんなで協力して準備にあたり、仲も深まります。やり遂げたときの達成感がたまりません。また、学校近くに小丸山公園があり、春になると桜が咲きとても綺麗です。七尾高校は先生や級友もハイレベルなので、とても質の良い授業を受けることができます。課題等をしっかりこなせば成績も必ずついてくるので、あまり心配は要りません。安心して受験して下さい。



「世界にはばたく
科学者」を
目指しましょう!

本物に触れ、 一流の研究者に学ぶ

1 「科学する力」を身につける

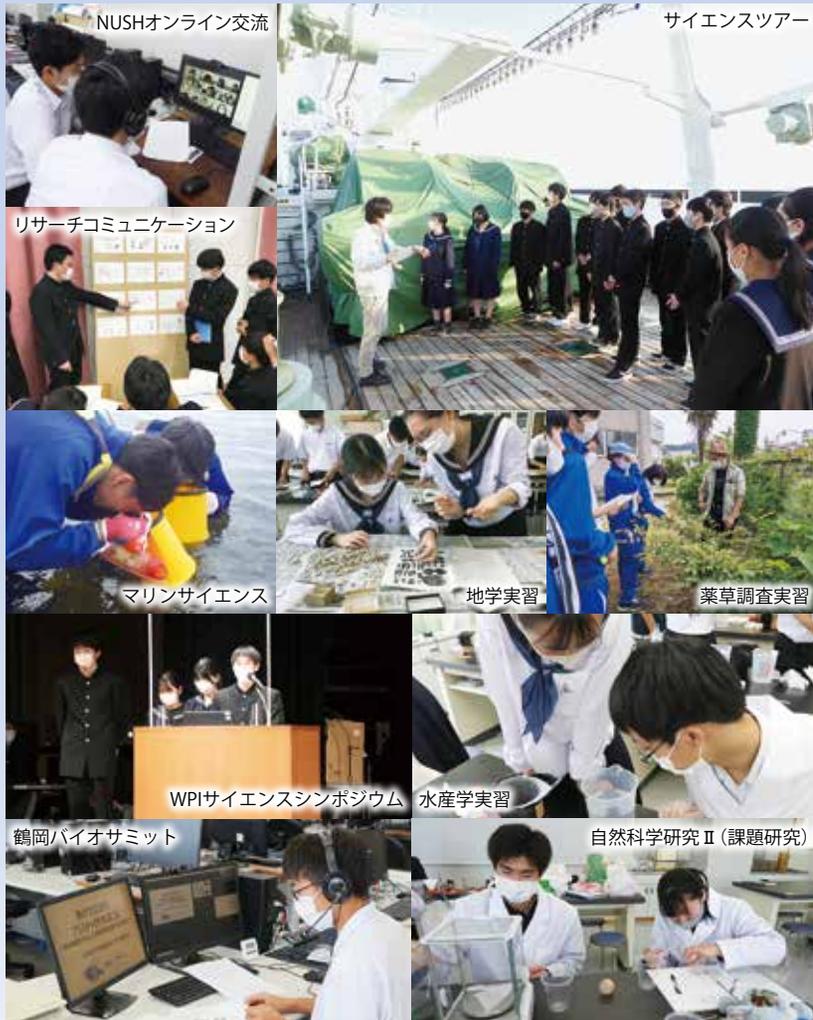
学校設定科目「自然科学研究」では、科学する方法を学び、テーマを設定した探究活動を行うことで思考力、探究力、創造性・独創性、表現力を身につけます。

2 科学を体感する

海洋生物を研究する「マリンサイエンス」や「地学実習」、「薬草調査実習」などを通して実物に触れ、自然現象への理解を深めます。また、「サイエンスツアー」では大学等の研究施設を訪れ、第一線で活躍する研究者から直接学びます。

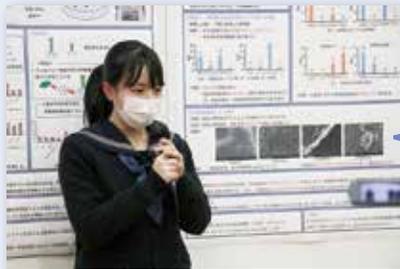
3 国際的な ステージで活躍する

学校設定科目「リサーチコミュニケーション」を通して、英語によるプレゼンテーション能力や討論力を養います。それを生かし、「シンガポール海外研修」等では現地の高校生と研究交流します。



飛び込もう! 創造の世界へ!

在校生のインタビュー



寺井 美優（3年・富来中学校出身 合唱）

家から通える範囲で、一番の進学校であること、お互いに切磋琢磨できる仲間と出会えることを考えて七尾高校を選びました。中学生の頃から、将来は医療の仕事に携わりたいと考えていました。理系志望は明確だったのですが、学校説明会で、理数科のカリキュラムや実習内容を知り、とても興味がわいたので、迷わず理数科を選びました。課題研究の授業では、何度も壁にぶつかりましたが、仲間たちと試行錯誤を重ね、最後までやり抜く力を身につけることができました。また、感謝の気持ちを忘れない、どんなことでも手を抜かない、ということ意識することで人間的にも成長したと感じています。理数科の魅力は、研究や実習を行う「自然科学研究」、英語で発表を行う「リサーチコミュニケーション」などの授業で、自ら主体的に物事を考える機会が多くあることです。また、研究でも勉強でも最後まで寄り添い応援してくれる先生方がいることだと思います。このような経験を通じて、将来は医学に携わりたいと考えています。探究活動で学んだスキルをぜひ活かしたいと思います。学校行事はどれも楽しいですが、個人的には「球技大会」がおすすめです。

本物・一流に
ふれる体験が
いっぱい！

宮田 愛彩（3年・羽咋中学校出身 剣道）

中学校の時から尊敬していた大好きな先輩が七尾高校へ進学していたからです。自分もその先輩のようになりたいという思いから七尾高校への進学を意識するようになりました。理数科を選んだのは、レベルの高い仲間たちが集まることで、よりよい環境の中で勉強を頑張れると思ったからです。また、クラスが3年間変わらないことで、深い人間関係を築くことができることも魅力だと考えました。入学して、常に深く考えるようになりました。今まで、何も考えていなかったというのではなく、質問に対して、本質的な意図を汲み取るように、深く考えるようになったということです。課題研究の活動から生物工学の分野に興味を持ちました。将来は研究者になりたいです。所属する剣道部では、北信越大会、インターハイ出場を目指して練習に励んでいます。中学時代は全く勝てない選手でしたが、今では県の強化指定選手にも選ばれました。顧問の先生、仲間たちへの感謝の気持ちを忘れずに成長を続けたいと思います。大切な友達や素晴らしい先生との出会いが待っています。自分を信じて頑張ってください。



三井 鈴加（3年・能都中学校出身 合唱）

家族から、能登で一番レベルが高い学校と聞いており、家からは遠いのですが関心がありました。学校について調べると、理数科には「マリンサイエンス」という授業や「シンガポール研修」など面白そうな行事が多く、興味が深まりました。そのため理数科への進学には迷いませんでした。高校生活で成長したと感じるのは、忙しい中でも時間を見つけること、分かり易いポスターやスライドを作成すること、大勢の人前でも冷静にプレゼンテーションを行うこと、などです。将来については、人間健康科学科への進学を考えています。京都大学が第一希望です。部活動では、合唱部に入っています。人数は多くないですが、みんな仲良しで楽しいです。七尾高校の校舎の周りにはいろいろな種類の植物がたくさんあって、四季折々の花を楽しめます。私は下宿生ですが、下宿では月～土まで毎食出してくれるので、自炊は要らないです。ご飯もおいしくて、特に不便を感じることはありません。下宿を考えている生徒さん、心配ないですよ。



綿谷 結太（3年・七尾東部中学校出身 ボート・SSC）

地元のレベルの高い進学校だったからです。中学生の時、特に理科が好きだったので、理数科に進学したいと思いました。高校生活を送る中で、自分は、計画を立てて行動できるようになったと思います。毎日の勉強、課題研究に取り組むことで身についたと思っています。七尾高校の魅力はたくさんの楽しい行事やいろいろな役立つ活動があることです。充実した学校生活を送れます。これは僕が保証します。部活動では、ボート部とSSC部に入っています。とても活気に溢れ、チーム一丸となって頑張れます。理数科の授業は、グループワークの機会が多く、周りの人の考えを吸収したり、自分のアイデアを伝えることができます。周辺環境が良く、校舎も新しく綺麗です。「天体ドーム」などの他の学校には無い設備が多く、さすが、SSH（スーパーサイエンスハイスクール）の学校という感じですね。七尾高校理数科は他にはない多くの貴重な体験ができます。とてもおすすめです！



部活動

七高生は勉強だけでなく、部活動にも全力で取り組みます。毎年多数の部活動が北信越大会や全国大会に出場しています。みなさんも先輩たちとひとつ上の栄冠を目指して頑張ってみませんか。



野球部



サッカー部



バレーボール部



バスケットボール部



バドミントン部



ソフトテニス部



空手道部



剣道部



卓球部



陸上競技部



ボート部



水泳部



ダンス部



写真部



茶道部



華道部



美術部



文芸部



外国語研究部



合唱部



弁論部



放送局



郷土研究部



応援団



吹奏楽局



SSC
(スーパーサイエンスクラブ)



書道部



新聞局

部活動一覧

令和3年度 部活動成績

全国大会出場

- SSC
- 書道部
- 吟詠剣詩舞部
- 放送局

北信越大会出場

- 陸上競技部
- ボート部
- ソフトテニス部
- バレーボール部
- 水泳部
- 空手道部
- 卓球部

先輩からのメッセージ

川端 健斗 (3年・陸上競技部・宝達中学校出身)

自分が学んだことはやはり「文武両道」です。部活の始まる前、記録会の空き時間なども学習に充て、部活の時間は常に自己記録更新を目指して全力で取り組む。この素晴らしい伝統を受け継いで頑張ってます。

岡田 線太 (3年・空手道部・七尾中学校出身)

武道の経験はなかったのですが、楽しそうだったので入部しました。指導力のある先輩、形が上手な先輩、蹴りの強い先輩など様々ですが、「試合に勝つ」という共通の目標に向かって頑張っています。

山辺 泰世 (3年・ソフトテニス部・中能登中学校出身)

昨年達成できなかったインターハイ出場を目標に頑張っています。七尾高校の伝統である、粘り強く辛抱して勝つプレイを心がけています。ただ、部員同士はいつも温かい雰囲気には溢れています。

上坂 陽菜 (3年・放送局・高松中学校出身)

普段は発声練習や大会に向けての作品づくりをしています。学校行事では司会を務め、音響の管理を行っています。外部での活動では「ラジオななお」とのコラボ企画の実施など、とても楽しい部活です。



みなさんの
入部お待ち
しております！



進路指導

将来について深く考えてもらうために、個人面談、個に応じた学習指導、大学の模擬授業、インターンシップなどを実施し、多様な観点からみなさんの進路実現をサポートしています。



合格者の声

栗田 菜央さん 中能登中学校出身

●福井大学 医学部 医学科

中学生の皆さんの中には、自分の人生がある程度方向付けられてしまうから、将来の夢を決めるのはとても難しいと思う人もいます。私の思う七尾高校の魅力は、進路決定のための機会が多く設けられていることにあります。七尾高校では、多様な活動を通じて、自分にたくさんの選択肢が用意されていることや自分の可能性を発見することができます。その中で、自分に合った進路を見つけることができるかもしれません。自分の進路は自分次第でどのようにでも変えることができます。自分が良いと信じる方に向かって精一杯頑張ってください。

小倉 功暉さん 羽咋中学校出身

●大阪大学 工学部 応用自然科学科

七尾高校は部活と勉強の両立ができる学校だと思います。部活では充実した日々を送り、一生の友達ができただけでなく北信越にも出場することができました。勉強ではレベルの高い仲間と競い合えます。先生方は七高生の進路実現のために力を注いでくれます。また、SSHの活動はとても魅力的なことがばかりで実際どれも楽しかったです。特にマリンサイエンスは奥能登の金沢大学の施設に泊まり、海に入って生物を捕獲したり、その生物で実験したりとても楽しかったです。僕は七高を選んで良かったと思っています。

竹山 真菜佳さん 穴水中学校出身

●金沢大学 医薬保健学域保健学類看護学専攻

私から七尾高校の良さをいくつか伝えたいと思います。七尾高校は生徒数が多いので、友達がたくさんできることが魅力だと思います。たくさんの人と話してみたいと思っている人にはおすすめです。また、七尾高校は勉強が大変そうと思っている人もいるかもしれませんが、時間が経つにつれて徐々に学習習慣が身につくにつれて勉強量に慣れてくるので大丈夫です！さらに部活の種類が多いことも魅力の一つだと思います。何かしらの部活をすることで学校生活が何倍も楽しくなると思います！私は七尾高校でたくさん思い出ができたし、楽しい高校生活を送ることができました。この文章を読んで七尾高校いいなと思ってくれたら嬉しいです！



あなたも一緒に夢をつかみましょう！

- 京都大・国立大医学部医学科に合格
- 難関大学合格者 21名
- 有名私立大にも多数合格
- 探究活動を活かした進路指導

昨年度のトピックス

大学合格者数

国公立大学

	R3年度	R2年度	R1年度
北海道大	3	7	7
東北大	4	3	5
東京大	0	1	1
筑波大	0	0	2
名古屋大	1	1	2
京都大	2	0	3
大阪大	7	2	2
神戸大	3	4	7
九州大	1	1	0
富山大	15	12	31
金沢大	33	27	21
石川県立看護大	2	4	5
その他	81	85	76
合計	152	147	162

私立大学

	R3年度	R2年度	R1年度
中央大	1	1	2
東京理科大	3	1	3
明治大	2	0	4
早稲田大	4	1	4
慶應大	1	0	0
上智大	1	0	0
立命館大	51	43	34
同志社大	8	7	9
関西大	2	9	8
関西学院大	3	3	5

その他大学多数

未来を切り拓く！



Access Map



石川県立七尾高等学校

TEL : 0767-52-3187

〒926-0817 石川県七尾市西藤橋町工 1 番地 1

FAX : 0767-52-6101

七尾高校

検索



 nanafh@ishikawa-c.ed.jp

 <https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/nanafh>

【表紙、裏表紙の写真について】

表紙：本校のシンボルでもある天文ドームと桜です。
裏表紙：本校正面の桜並木です。他にも至る所に植物があり、生徒や職員を癒してくれます。

写真部 2年 吉田 絢菜（中能登中学校出身）
三宅 友香（柳田中学校出身） 撮影

※掲載されているすべての内容の無許可転載・転用を禁止します。